

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成30年12月8日実施）

塩谷町山口地区「イノシシ・シカ等獣害防止柵設置作業」

とちぎ夢大地応援団活動が塩谷町船生の山口地区において12月8日、夢大地応援団員49名、夢大地応援団カレッジ13名、地元山口区獣害対策委員会（阿久津忠勝会長）会員50名（含む賄い女性10名）、関係機関10名の総勢122名が参加して行われ、イノシシやシカ等獣害を防ぐための柵を2.8kmにわたって設置しました。

当日の夢大地応援団員の内訳は、一般会員6名、企業の地域社会貢献活動として参加した栃木明治牛乳株式会社従業員1名、大和ハウス工業株式会社宇都宮支社従業員8名、ボランティア団体ナルク栃木会員8名、地元建設会社関係者7名、県農政部職員9名です。開会式で阿久津会長から歓迎のあいさつを受けた後、15班に分かれて山林内に入りました。応援団員はその後、各班長らから作業の手順を教わり、鉄柱を地中に埋め込む人やメッシュ柵を鉄の支柱に結束する人などの担当に分かれて、次々とフェンスをつないでいきました。場所によっては地面が固く柵が埋まらず苦勞する班もありました。

昼食は、公民館で地元の女性たち手づくりのカレーライスや豚汁が振る舞われました。食事後は、参加者間で交流を図り、午後も約1時間半、作業を行いました。

閉会式では阿久津会長から「皆さんのお陰でほぼ計画に近い柵を張ることができた。ありがとうございました」とお礼の言葉がありました。また、参加した学生からは「楽しく作業ができた」と感想が語られました。



カレッジの学生たちも加わり100人を超える記念撮影になりました



阿久津会長（手前）の歓迎あいさつを聞く応援団員



開会式の後、柵の張り方の指導を受けました



1班7～8人で15班を編成し、それぞれ山の中に入りました



みんなで作業を分担しながらメッシュ柵をつないでいきます





地面が固くて柵が埋まらず苦勞する場所もあり、重機が出動した班もありました



最終的に 2.8 kmの柵が完成しました



昼食は公民館前の庭で、地元の女性たち手づくりのカレーライスと豚汁をいただきました

